

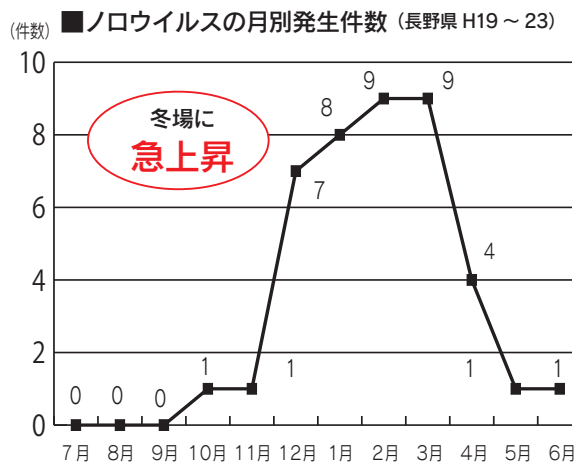


夏場だけではありません

冬場も注意！食中毒

食中毒は夏場だけではありません

食中毒といえば、夏のイメージがありますが、冬の時期を中心に猛威をふるう食中毒があります。それがノロウイルスによる食中毒です。県内のノロウイルスによる食中毒の件数は、5年間で41件発生しており、患者数は1,773名にもなります。ノロウイルスは潜伏期間が24時間から48時間あり、感染力が強く、1件あたりの患者数が多いのが特徴です。主な症状としては、吐き気、下痢、腹痛、



微熱ですが、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児などは、重症になる場合があるので、注意が必要です。ノロウイルスに感染しないためにできること、家族で感染した人が出たらできることを確認しておきましょう。

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

- ①加熱が必要な食品は中心部までしっかりと加熱する。
ノロウイルスの感染性を失わせるには、食品の中心温度を85度以上にし、1分以上の加熱することが有効です。加熱の必要な食品はしっかりと加熱するようにしましょう。
- ②石けんで手洗いを行う。
外出先から帰った時、トイレに行った後、調理の前や食事の前などは、石けんで手を洗うようにしましょう。特に汚れの残りやすい指先、指の間、親指周り、手首は意識して洗うようにしましょう。
- ③調理台、調理器具はいつも清潔にする。
まな板、包丁、食器、ふきんなどは、使用後すぐに洗うとともに熱湯（85度以上）で1分間以上加熱しましょう。

上)で1分間以上加熱しましょう。ノロウイルスの原因食品としては、2枚貝が有名ですが、実はノロウイルスによる食中毒のうち7割は原因食品が特定されていない食中毒になります。そのため、どのような食品を扱う時も調理台、調理器具は清潔にしましょう。

ノロウイルスにかかってしまったら・・・

- ①本人が気を付けること
①すぐに受診をし、脱水症状や体力の消耗を避けるため、水分と栄養の補給を十分に行う。
- ②入浴の際には、まずおしりをよく洗ってから入るようにし、できればシャワーのみで浴槽を使う場合は、最後に入るようにする。手ぬぐいやバスタオルの共用はしない。
- ③症状が治まっても便の中に、ウイルスは2～3週間残ります。常に石けんで手を洗い、一緒に蛇口も洗うようにしましょう。



- 【排泄物やおう吐物の処理方法】
- ①使い捨てのマスク・手袋を着用し、素手では触らない。
 - ②乾燥してしまいう前に使い捨てできる布やペーパータオルなどで静かにふき取り、塩素消毒後、水拭きをする。
 - ③ふき取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄し、終わったら、いいに手を洗う。

【塩素消毒液の作り方】
市販の塩素系漂白剤の多くは、塩素濃度が5%ですので、50～100倍に希釈して使用します。希釈の目安としては、500mℓのペットボトル1本に、ペットボトルのキャップ1～2杯の塩素系漂白剤を入れると簡単に作ることができます。その際、漂白剤が直接手につかないように手袋をするようにしましょう。

家畜診療所通信

獣医師：清水達夫



ちょっと痛いけど、我慢して！

療は、抗

生物質」を使います。抗生物質は細菌の細胞壁を壊すなど、細菌自体を殺す「殺菌作用」で細菌を退治するものがほとんどです。この殺菌作用は人間などの（宿主）の細胞は壊さないという素晴らしい特徴もあります。しかし、ウイルスは細胞壁を持たず、人や動物（宿主）自体の細胞の中に入り込むため、細胞壁を壊した抗生物質は、何もできません。現在あるウイルスに対する抗生物質「抗ウイルス薬」は、ウイルス自体を殺すのではなく、ウイルスの増殖を止め感染する細胞の数を抑えて、治療するものがほとんどです。

ん。ウイルスに勝つには感染した人（動物）自身でウイルスをやっつけるしかないのです。でも、人間や動物には、「免疫」という抗生物質以上の素晴らしい防御を持っています。この「免疫」一度ウイルスに感染すると、体はそのウイルスを覚え、次に同じウイルスに侵入されても、相手の弱点が分かっているため、すぐにやっつけることができます。この作用を狙ったのがインフルエンザワクチンなどのワクチンです。ワクチンは、ウイルス自体を体に入れ、攻撃させて「免疫」を得るために行います。

平成 25 年度の選奨土木遺産に信越本線トンネル群の一つとして「戸草トンネル」が認定されました

Topics

古間駅から戸草地区をつなぐ戸草トンネルが、信越本線の長野と関山間に建設された大廻、坂口新田の2つのトンネルと合わせた「信越本線トンネル群」として、土木学会の選奨土木遺産に認定され、10月24日に認定証授与式が行われました。

この推奨土木遺産とは、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に創設され、優れた構造物などを「選奨土木遺産」として認定表彰しています。

信越本線トンネル群は、明治期に信越本線の長野と直江津をつなぐ、戸草、大廻、坂口新田の3つのトンネルで、レンガと切石で組まれた大変貴重な土木遺産です。今も、戸草トンネル内は当時の様子をうかがうことができます。鉄道トンネルの役目は終えましたが、今なお、道路として使われています。



《戸草トンネルの概要》（竣工）明治21年（延長）145.2m（出入口）石材、要石、積層切石積み（内部）レンガ長手積み、腰壁は整層切石積み（その他）昭和41年に電化に伴い、鉄道トンネルとしては廃止されました。

岡建設水道課 建設係 ☎(255)5922